

## 带状疱疹予防接種費用の一部助成について

令和6年度から、带状疱疹予防接種費用の一部を助成を始めました。予防接種法に基づかない“任意接種、となりますので、このチラシをよく読み、かかりつけ医師等にご相談のうえ、予防接種による効果や副反応等を十分にご理解頂いたうえで、接種の判断をしてください。

### 带状疱疹とは

带状疱疹は、多くの人が子どもの時に感染する水ぼうそうのウイルスが原因で起こります。治った後もこのウイルスは神経節に潜んでいるためストレスや過労、病気、加齢など免疫力が低下した際に、再び活性化して带状疱疹を発症します。日本では80歳までに約3人に1人が発症すると言われており、皮膚症状が治った後も、50歳以上の約2割の方に带状疱疹後神経痛（PHN）と呼ばれる長い痛みが続くことがあります。

### 対象者

陸別町に住民票があり、接種日に満50歳以上の方



### ワクチンの種類・費用について

带状疱疹ワクチンは2種類あり、接種方法や回数等に違いがあります。

	水痘生ワクチン(ビケン)※1	带状疱疹ワクチン(シングリックス)
接種回数	1回	2回 ※2回目は1回目の接種から原則2か月後、遅くとも6か月後までに接種
接種方法	皮下接種	筋肉内注射
有効性	50～59歳：69.8%、60～69歳：64% 70～79歳：41%、80歳以上：18%	50～59歳：96.6%、60～69歳：97.4% 70～79歳：91.3%、80歳以上：91.4%
予防効果	5～7年程度 ※2	10年以上 ※2 (11年以降は延長試験を実施中)
副反応	◆頻度10%以上の副反応 発赤(44.0%)、掻痒感(27.4%)、熱感(18.5%)、腫脹(17.0%)、疼痛(14.7%)、硬結(13.5%) ◆重大な副反応(いずれも頻度不明) アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎 ※2	◆頻度10%以上の副反応 疼痛(79.10%)、発赤(37.4%)、腫脹(24.2%)、筋肉痛(36.9%)、疲労(34.6%)、頭痛(28.3%)、悪寒(21.4%) 発熱(16.7%)、胃腸症状(12.0%) ◆重大な副反応(いずれも頻度不明) ショック・アナフィラキシー ※2
助成額	4,200円 *接種費用8,300円のうち4,200円を助成	10,400円×2回 *接種費用20,700円のうち10,400円を助成
個人負担金	<b>4,100円</b> ※3	<b>10,300円×2回</b>

- ※1 明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する方および免疫抑制をきたす治療を受けている方は接種できません。  
 ※2 ワクチン販売製薬会社、厚生労働省ホームページ等を引用・参考として作成しています。  
 ※3 接種費用の変動により、個人負担金が変わる場合があります。ご了承ください。

## 接種場所

陸別町国民健康保険関寛齋診療所

※長期入院等やむを得ない場合のみ、他の医療機関での接種が可能です。

## 接種の流れ

①陸別町国民健康保険関寛齋診療所（☎0156-27-2135）に予約をします。（診療時間内に接種できます。）事前に診療所へ予診票と接種説明書を取りに行き、説明書を十分にお読みのうえ、接種に備えてください。

### ②予防接種

持ち物は「予診票」（予め記入してご持参ください）、「身分証明書」（免許証やマイナンバーカード等）、「保険証」です。

### ③個人負担金（水痘生ワクチンは4,100円、带状疱疹ワクチンは10,300円（×2回）をお支払いください。

※他の医療機関で接種された場合は、領収書と印鑑、通帳（口座がわかるもの）をお持ちの上、速やかに保健福祉センター窓口で払い戻しの手続きをしてください（接種費用は医療機関によって異なります。助成額は接種費用の1/2の額です。（ただし診療所で接種した場合の助成額を上限としますのでご了承ください）

## その他

助成制度の利用はどちらかのワクチンで生涯に1度限りです。ご注意ください。



Q. 過去に水痘生ワクチンを接種したことがあります。再度、水痘生ワクチンを接種してもいいですか？

A. 今現在では1回の接種とされています。  
(带状疱疹ワクチンも同様です)

Q. 带状疱疹に罹ったことがあります。ワクチンは接種できますか？

A. 症状が落ち着いたら接種可能とされていますが、かかりつけ医に相談のうえで接種することをお勧めします。

Q. 以前に水痘生ワクチンを接種したことがあります。带状疱疹ワクチンを接種してもいいですか？

A. 今現在ではデータがありません。  
接種について、かかりつけ医等にご相談ください。相談したうえで接種する場合は、助成の対象となります。

Q. 過去に水痘生ワクチン（带状疱疹ワクチン）を接種したのか記憶が曖昧です。

A. お手数ですが、お心当たりのある医療機関にお問合せください。（個人情報のため、こちらでお調べできません）。

\*水痘生ワクチンは平成28年、带状疱疹ワクチンは令和2年1月に認可されています。